アポロ美容理容専門学校　２０２６年度シラバス

設置課程	**理・美容科**	**担当教員**	**杵淵　昭彦**		
設置課目	**運営管理**	**学年**	**１年**	**実施時期**	**前期・後期**
授業形態	**講義**	**必修･選択**	**必修**	**授業時数（単位）**	**16 時間**
教育目標・ねらい	**国家試験合格を第一目標とし、会社経営全般の知識の習得。**				

授業回	授業計画及び内容	備考
1	経営とは（教科書 P12～23）	7/8 1 限
2	1 時間目の演習	7/8 2 限
3	美容界の現状（教科書 P24～35）	8/27 1 限
4	3 時間目の演習	8/27 2 限
5	税金について（教科書 P36～47）	8/27 3 限
6	5 時間目の演習	9/3 4 限
7	労働者の権利について（教科書 P50～73）	9/9 3 限
8	7 時間目の演習	10/28 2 限
9	社会保険について（教科書 P74～93）	10/28 3 限
10	9 時間目の演習	12/2 4 限
11	サービスデザイン・マーケティングについて（教科書 P96～123）	1/21 2 限
12	11 時間目の演	1/21 3 限
13	接客について（教科書 P124～143）	2/10 2 限
14	13 時間目の演習	2/10 3 限
15	復習	2/17 2 限
16	復習	2/17 3 限

到達目標	**国家試験　全員合格**
評価方法	**出席回数　課題提出　定期試験**
教材テキスト	**運営管理テキスト**
特記事項	

アポロ美容理容専門学校　２０２６年度シラバス

設置課程	**理・美容科**		**担当教員**	**杵淵　昭彦**	
設置課目	**運営管理**		**学年**	**２年**	**実施時期**	**前期・後期**
授業形態	**講義**	**必修･選択**	**必修**	**授業時数（単位）**	**17 時間**
教育目標・ねらい	**国家試験合格を第一目標とし、会社経営全般の知識の習得。**				

授業回	授業計画及び内容	備考
1	全体復習（一問一答）①（過去問 41 回　改訂）	7/1　1 限
2	全体復習（一問一答）②（過去問 42 回　改訂）	7/1　2 限
3	全体復習（一問一答）③（過去問 43 回　改訂）	7/9　1 限
4	全体復習（一問一答）④（過去問 44 回　改訂）	7/9　2 限
5	全体復習（一問一答）⑤（過去問 45 回　改訂）	8/26 4 限
6	全体復習（一問一答）⑥（過去問 46 回　改訂）	8/26 5 限
7	全体復習（一問一答）⑦（過去問 47 回　改訂）	8/26 6 限
8	全体復習（一問一答）⑧（過去問 48 回　改訂）	9/9　4 限
9	全体復習（一問一答）⑨（過去問 49 回　改訂）	10/8 2 限
10	全体復習（一問一答）⑩（過去問 50 回　改訂）	10/8 3 限
11	全体復習（一問一答）⑪（教科書　全範囲）	10/29 2 限
12	全体復習（ワークブック）①	10/29 3 限
13	全体復習（ワークブック）②	11/25 2 限
14	全体復習（ワークブック）③・過去問（2020～2024 年度）	11/25 3 限
15	その他①	12/2 2 限
16	その他②	12/2 3 限
17	その他③	2/174 限

到達目標	**国家試験　全員合格**
評価方法	**出席回数　課題提出　定期試験**
使用教材	**運営管理テキスト**

特記事項	

アポロ美容理容専門学校　２０２６年度シラバス

設置課程	**理・美容科**		**担当教員**	**鈴木智子**		
設置課目	**衛生管理**		**学年**	**１年**	**実施時期**	**前期**
授業形態	**講義・座学**	**必修･選択の別**	**必修**		**授業時数（単位）**	**３０時間**
教育目標･ねらい	学力を上げるための勉強ではなく、美容師、理容師としての資質を高める勉強をしていると意識できるようになる。 教室は、一つの社会であると認識し、答えのわからない問題にも積極的に自ら考える力を発揮できるようになる。社会で通用する忍耐強さを身につけ、根気よく授業に参加できるようになる。国家試験に合格できる読解力、知識を得る。					

授業回	授業計画及び内容	備考
1	衛生管理の科目について。国家試験について説明。資料の配布。授業の諸注意。 第１編　公衆衛生　第１章　公衆衛生の概要　１節　公衆衛生の意義と課題～	
2	２節　公衆衛生発展の歴史	
3	３節　理容師・美容師と公衆衛生 ４節　保健所と理容業・美容業	
4	ここまでの小テスト①　第２章　保健　１節　保健	
5	２　成人・高齢者保健	
6	生活習慣病の対策	
7	ここまでの小テスト②　３　精神保健	
8	第１編のまとめ　練習問題①	
9	第１編のまとめ　練習問題②	

１０	第２編　環境衛生　第１章　環境衛生　１節　環境衛生の概要	
１１	２節　空気環境	
１２	３節　衣服・住居の衛生	
１３	４節　上・下水道と廃棄物	
１４	５節　衛生害虫とネズミ　６節　環境保全	
１５	２編　環境衛生のまとめ　小テスト③	

到達目標	日本における公衆衛生について理解し、自分も貢献しようとする意識を持つ。環境衛生について、健康に関する環境のあり方を理解し、環境の改善ができるようになる。
評価方法	定期試験：２５％、　出席率５０％、授業内評価物（小テスト／発表など）１０％、授業外評価物（宿題／課題など）１０％、そのほか取り組み姿勢　加点を行う。
教材テキスト	衛生管理
特記事項	小テストの結果によっては、個別に課題が出ることがあります。教科書を読むのに、漢字が読みにくい人や、計算が苦手な人は、相談をしてください。卒業までにできるようにします。

アポロ美容理容専門学校　２０２６年度シラバス(1)

学科	美容科　理美容　科		担当教員	佐々木　康人		
科目名	関係法規		学年	1 年	実施時期	前期・後期
授業形態	講義	必修･選択の別	必修		授業期間（単位）	15 時間（1 単位）
教育目標･ねらい	国家試験である関係法規の高得点取得を目指す。および理美容業界で勤務するうえで忘れてはならない知識を習得する。					

授業回	授業計画及び内容	備考
1	国家試験の概要	
2	法の種類	
3	衛生法規・衛生行政	
4	理美容師法	
5	理美容師免許取得まで	
6	変更届について	
7	理美容師の衛生措置	
8	理美容師の行政処分	
9	理美容所の開設	
１０	管理理美容師	
１１	立入検査について	
１２	司法処分	
１３	関連法規	
１４	復習①	
１５	復習②	

到達目標	受講者全員が国家試験課目全問正解すること
評価方法	定期試験・課題提出・および出席状況
テキスト	関係法規・制度（日本理容美容教育センター）
特記事項	

アポロ美容理容専門学校　２０２６年度シラバス(2)

学科	美容科理容科		担当教員	佐々木　康人		
科目名	関係法規		学年	2 年	実施時期	前期・後期
授業形態	講義	必修･選択の別	必修		授業期間（単位）	15 時間（1 単位）
教育目標･ねらい	国家試験である関係法規の高得点取得を目指す。および理美容業界で勤務するうえで忘れてはならない知識を習得する。					

授業回	授業計画及び内容	備考
16	ワークブック演習①	
17	ワークブック演習②	
18	ワークブック演習③	
19	ワークブック演習④	
20	ワークブック演習⑤	
21	ワークブック演習⑥	
22	ワークブック演習⑦	
23	過去問演習①	
24	過去問演習②	
25	過去問演習③	
26	過去問演習④	
27	総合復習①	
28	総合復習②	
29	総合復習③	
30	総合復習④	

到達目標	受講者全員が国家試験課目全問正解すること
評価方法	定期試験・課題提出および出席状況
テキスト	関係法規・制度（日本理容美容教育センター）
特記事項	

アポロ美容理容専門学校　２０２６年度シラバス

学科	理・美容科		担当教員	清水　葉子		
科目名	香粧品化学		学年	１年	実施時期	前期
授業形態	講義・演習	必修･選択の別	必修		授業期間（単位）	３０時間
教育目標・ねらい	身近な香粧品に興味を持ち、理美容師に必須な知識であることを認識する。 また国家試験の科目であることを意識して授業に臨む。					

授業回	授業計画及び内容	備考
１	ガイダンス・成績評価方法について	
２	第１編１章　香粧品総論	
３	２章１節　香粧品を使用する際に気をつけるべきこと	
４	２章２節　香粧品の定義と法規制　　３節　香粧品の安全性と安定性	
５	３章１節　香粧品の成り立ち	
６	３章２節　水と親水性溶媒	
７	３章３節　油性原料	
８	３章３節　油性原料	
９	３章４節　界面活性剤	
１０	３章４節　界面活性剤	
１１	１章振り返り	
１２	２章振り返り	
１３	３章振り返り	
１４	定期試験対策演習	
１５	定期試験対策演習	

到達目標	教科書の内容を理解し、定期試験６０点以上を得点すること。
評価方法	出席 50%定期試験 25%確認小テスト 10%定期試験での努力成果 10%高得点の獲得 5%
テキスト	「香粧品化学」日本理容美容教育センター発行教科書・オリジナルプリント
特記事項	Google フォームによる出欠兼確認小テストを毎回実施。 教科書・プリント・赤また橙色ペン・スマートフォンを持参すること。

アポロ美容理容専門学校　２０２６年度シラバス

学科	理・美容科		担当教員	清水　葉子		
科目名	香粧品化学		学年	１年	実施時期	後期
授業形態	講義・演習	必修･選択の別	必修		授業期間（単位）	３０時間
教育目標・ねらい	身近な香粧品に興味を持ち、理美容師に必須な知識であることを認識する。 また国家試験の科目であることを意識して授業に臨む。					

授業回	授業計画及び内容	備考
16	定期試験対策演習	
17	前期試験解答解説	
18	３章５節　高分子化合物	
19	３章６節　色材	
20	３章７節　香料　　３章８節　製品を安定させる配合原料	
21	３章９節　その他の機能性配合原料　　10 節　雑貨原料	
22	第２編１章１節～３節　スキンケア製品	
23	１章４節　トリートメント用香粧品	
24	２章１節～４節　メイクアップ製品	
25	２章５節～７節　ネイルケア製品	
26	３章１節　ヘアクレンジング用香粧品	
27	３章２節　ヘアコンディショニング用こうしょうひん	
28	３章３節　ヘアスタイリング料	
29	定期試験対策演習	
30	定期試験対策演習	

到達目標	教科書の内容を理解し、定期試験６０点以上を得点すること。
評価方法	出席 50%定期試験 25%確認小テスト 10%定期試験での努力成果 10%高得点の獲得 5%
テキスト	「香粧品化学」日本理容美容教育センター発行教科書・オリジナルプリント
特記事項	Google フォームによる出欠兼確認小テストを毎回実施。 教科書・プリント・赤また橙色ペン・スマートフォンを持参すること。

設置課程	理・美容科		担当教員	間々田 佳		
設置課目	文化論		学年	1年	実施時期	前期・後期
授業形態	講義	必修･選択　の別	必修		授業時数（単位）	30時間
教育目標・ねらい	美の成り立ちや在り方を知り、感性を高め、新しいデザインの糧とする。 美容師・理容師国家試験の３問を正答することを目標とする。					

授業回	授業実施日	授業計画及び内容	備考
1	5/9	オリエンテーション	
2	5/9	1章 総論	
3	5/9	2章 日本の理容業・美容業の歴史	
4	5/16	3章 ファッション文化史日本編 1節 縄文・弥生・古墳時代① 解説	
5	5/16	3章 1節 縄文・弥生・古墳時代② 実習	
6	5/16	3章 1節 縄文・弥生・古墳時代③ 講評	授業内評価（実習）
7	5/30	3章 2節 古代(飛鳥・奈良・平安)① 解説	
8	5/30	3章 2節 古代(飛鳥・奈良・平安)② 実習	
9	5/30	3章 2節 古代(飛鳥・奈良・平安)③ 講評	授業内評価（実習）
10	6/13	3章 3節 中世(平安末・鎌倉・室町・戦国)① 解説	
11	6/13	3章 3節 中世(平安末・鎌倉・室町・戦国)② 実習	
12	6/13	3章 3節 中世(平安末・鎌倉・室町・戦国)③ 講評	授業内評価（実習）
13	8/27	3章 4節 近世(戦国末・安土桃山)① 解説	
14	8/27	3章 4節 近世(戦国末・安土桃山)② 実習	
15	8/27	3章 4節 近世(戦国末・安土桃山)③ 講評	授業内評価（実習）
16	8/29	5章 礼装の種類 1節 和装の礼装 ① 解説	授業外評価（課題）
17	8/29	5章 礼装の種類 1節 和装の礼装 ② 実習	
18	8/29	5章 礼装の種類 1節 和装の礼装 ③ 講評	授業内評価（実習）
19	9/9	5章 礼装の種類 2節 洋装の礼装 解説	
20	9/9	5章 礼装の種類 1節 和装の礼装 2節 洋装の礼装 練習問題	
21	9/9	前期学科試験対策 5章 礼装の種類 練習問題	授業外評価（課題）

22	**9/12**	前期学科試験解答解説 ５章 礼装の種類	
23	**9/12**	３章 5節 近世(江戸)① 髪型解説	
24	**9/12**	３章 5節 近世(江戸)② 髪型解説	
25	**9/19**	３章 5節 近世(江戸)③ 化粧、服装解説	
26	**9/19**	３章 5節 近世(江戸)④ 実習	
27	**9/19**	３章 5節 近世(江戸)⑤ 講評	授業内評価（実習）
28	**1/22**	4章ファッション文化史西洋編① 解説	
29	**1/22**	4章ファッション文化史西洋編② 実習	
30	**1/22**	4章ファッション文化史西洋編③ 講評	授業内評価（実習）
31	**2/6**	５章 礼装の種類 １節 和装の礼装 復習	
32	**2/6**	５章 礼装の種類 ２節 洋装の礼装　復習	授業内評価（小テスト）
33	**2/6**	前期学科試験対策 ５章 礼装の種類 練習問題	
到達目標		仕事に活かせるように、美の成り立ちや在り方を知り、感性を高める。 美容師・理容師国家試験に向けて、勉強する楽しさを感じる。	
評価方法		出席状況50%、定期テスト25%、授業外評価（課題）10%、授業内評価（実習）10%、加点5%で評価する。	
教材テキスト		文化論教科書、配布するスライドデータ	
特記事項		文化論教科書の中から厳選して授業で取り扱う。講義を行いつつ、講義内容を応用して実習を行うことで理解度を高める。	

設置課程	理・美容科		担当教員	間々田 佳		
設置課目	文化論		学年	2年	実施時期	前期・後期
授業形態	講義	必修･選択　の別	必修		授業時数（単位）	30時間
教育目標・ねらい	美の成り立ちや在り方を知り、感性を高め、新しいデザインの糧とする。 美容師・理容師国家試験の３問を正答することを目標とする。					

授業回	授業予定日/時限	授業計画及び内容	備考
1	5/23	3章ファッション文化史日本編 6節 近代(明治) ①髪型	
2	5/23	3章 6節 近代(明治)② 化粧、服装	
3	5/23	3章 6節 近代(明治)③ 練習問題	
4	6/6	3章 7節 近代(大正)① 髪型	
5	6/6	3章 7節 近代(大正)② 化粧、服装	
6	6/6	3章 7節 近代(大正)③ 練習問題	授業外評価（課題）
7	8/25	前期学科試験対策	授業内評価（小テスト）
8	8/25	前期学科試験対策	
9	8/25	前期学科試験対策	
10	10/3	前期学科試験解答解説	
11	10/3	3章 8節 近代(昭和20年まで) ① 髪型、化粧、服装	
12	10/3	3章 8節 近代(昭和20年まで)② 練習問題	
13	10/10	3章 9節 現代(1945~1950s)① 髪型、化粧、服装	
14	10/10	3章 9節 現代(1945~1950s) ②練習問題	
15	10/10	3章 6～9節まで復習	授業外評価（課題）
16	10/24	3章 10節 現代(1960s~1970s)① 髪型、化粧	授業内評価（小テスト）
17	10/24	3章 10節 現代(1960s~1970s)② 服装	
18	10/24	3章 10節 現代(1960s~1970s)③ 練習問題	
19	10/31	3章 11節 現代(1980s~1990s)① 髪型、化粧	
20	10/31	3章 11節 現代(1980s~1990s)② 服装	
21	10/31	3章 11節 現代(1980s~1990s)③ 練習問題	授業外評価（課題）

22	**11/21**	国家試験対策 過去問題①	授業内評価（小テスト）
23	**11/21**	国家試験対策 過去問題②	
24	**11/21**	国家試験対策 過去問題③	授業外評価（課題）
25	**12/5**	後期学科試験対策	授業内評価（小テスト）
26	**12/5**	後期学科試験対策	
27	**12/5**	後期学科試験対策	
28	**12/12**	後期学科試験解答解説	授業外評価（課題）
29	**12/12**	国家試験対策 予想問題①	授業内評価（小テスト）
30	**12/12**	国家試験対策 予想問題②	
31	**2/20**	国家試験対策 予想問題③	
32	**2/20**	国家試験対策 予想問題④	
33	**2/20**	国家試験対策 予想問題⑤	
到達目標		仕事に活かせるように、美の成り立ちや在り方を知り、感性を高める。 美容師・理容師国家試験に向けて、勉強する楽しさを感じる。	
評価方法		出席状況50%、定期テスト25%、授業外評価（課題）10%、授業内評価（実習）10%、加点5%で評価する。	
教材テキスト		文化論教科書、配布するスライドデータ	
特記事項		文化論教科書の中から厳選して授業で取り扱う。講義を行いつつ、講義内容を応用して実習を行うことで理解度を高める。	

アポロ美容理容専門学校　２０２６年度シラバス

設置課程	**理・美容科**		**担当教員**	**鈴木智子**		
設置課目	**保健**		**学年**	**１年**	**実施時期**	**前期**
授業形態	**講義・座学**	**必修･選択の別**	**必修**		**授業時数（単位）**	**６０時間**
教育目標･ねらい	学力を上げるための勉強ではなく、美容師、理容師としての資質を高める勉強をしていると意識できるようになる。 教室は、一つの社会であると認識し、答えのわからない問題にも積極的に自ら考える力を発揮できるようになる。社会で通用する忍耐強さを身につけ、根気よく授業に参加できるようになる。国家試験に合格できる読解力、知識を得る。					

授業回	授業計画及び内容	備考
1	保健の内容の説明。難しい単語を読む。	
2	第１章/頭部、顔部、頸部の体表解剖学　１　人体各部の名称	
3	２　頭部、顔部、頸部の体表解剖学	
4	第２章/骨格器系　１　骨の種類と構造 ２項　骨の連結・骨格器とそのはたらき	
5	３　骨格器とそのはたらき	
6	骨格器系　まとめ　単語から問題作り	
7	骨格器系小テスト① 第３章/筋系　１　筋の種類とその特徴 ２　主な骨格筋とそのはたらき	
8	３　表情筋と表情運動 ４　理容美容の作業と筋疲労	
9	筋系　まとめ	
１０	筋系　まとめ　小テスト②	

１１	第４章/神経系　１　神経系の成り立ち	
１２	２項　中枢神経とそのはたらき ３項　末梢神経とそのはたらき	
１３	神経系　まとめ	
１４	神経系　小テスト③	
１５	第５章/感覚器系　１項 視覚 / ２項 聴覚 / ３項 平衡感覚	
１６	４項 味覚 / ５項 嗅覚 / ６項 皮膚感覚	
１７	感覚器系　まとめ　小テスト④	
１８	第６章/血液と免疫系　１項　血液のあらまし　　２項　免疫のあらまし	
１９	３項　アレルギー	
２０	血液と免疫系　小テスト⑤ 第７章／循環器系　１項　心臓のあらまし	
２１	２項　血液循環の仕組み　３項　血液の循環経路	
２２	４項　リンパ関係の仕組みとはたらき	
２３	循環器系　小テスト⑥	
２４	第８章／呼吸器系　１項　呼吸器系のあらまし	
２５	２項　気道　３項肺の仕組みとガス交換　４項　呼吸運動	
２６	呼吸器系　小テスト⑦	
２７	第９章　消化器系　１項　消化器系のあらまし　２項　消化管の仕組み	
２８	３項　消化管のはたらき　４項　消化管と物質代謝	

２９	消化器系　小テスト⑧	
３０	練習問題　総復習	
到達目標	体の仕組みを理解する。客の体に直接触れる仕事であることを自覚し、自分や、客の健康を損ねることの無いよう知識をつける。	
評価方法	定期試験：２５％、　出席率５０％、授業内評価物（小テスト／発表など）１０％、授業外評価物（宿題／課題など）１０％、そのほか取り組み姿勢　加点を行う。	
教材テキスト	保健	
特記事項	教科書を読むのに、漢字が読みにくい人は、相談をしてください。卒業までにできるようにします。	